

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	ホウショウレイル	△3	頭数増&相手強化によってヴィクトワールピサ産駒らしく不器用な面が露呈してきた。揉まれていいタイプではなく、1枠1番は明らかにマイナス。向上面で外に持ち出せるかが全てだろう。		
2	2	ゼットパッション	△1	前走桃花賞がやや上手く行き過ぎた面があったものの、ここに来て地力強化しているのは間違いなし。内でじっと脚を溜めることもできるので、この枠なら内に潜り込んでスパートのタイミングを図るだけだろう。レース運びはしやすく、馬券圏内に加わるチャンスはある。		
3	3	スティールティアラ	△2	デンのダッシュカがピカイチで、このメンバーでもハナを奪えそう。ただ今回は外目2番手にシントーアサヒがマークする形。トーセングーネットも早め早めに進出するとすれば、展開的には苦しくなるか。桜花賞で買いたい。		
4	4	シントーアサヒ	◎	本馬はホウショウレイルと比べて弱点が少なく、レースセンスもしっかりと兼ね備えている馬。控えても揉まれても問題はないタイプだろう。なにより手綱を取る左海騎手が「逃げると遊んでしまうので、前に馬がいたほうがいい」とコメントを残している。		
5	5	トーセングーネット		血統的に1400m適性はありそうだが、近2走が全く冴えず。さすがに重賞では荷が重い。		
	6	ポッドギル		大崩れなく走っているが、条件戦で取りこぼしており、重賞ではさすがに荷が重だろう。今回は相手も強い。		
6	7	ラブミーピンク	▲	前走桃花賞は勝ち馬ゼットパッションから1.2秒差の6着に敗れているが、内断然有利の開催で15番ゲートからのスタートではノーカウントと捉えていいだろう。大井内回りの東京2歳優駿牝馬で豪快に追い込んできたのを見ても、差し馬ながら器用な面があり、浦和コースへの適性は高そう。		
	8	サブノダンサー		前走桃花賞では馬場を味方につけながら勝ち馬ゼットパッションに完敗。今回はメンバーレベルが大幅に強化。健闘しても掲示板までだろう。		
7	9	トーセングーネット	○	前走ニューイヤークップではヒカリオーソを抑えて優勝。そのヒカリオーソはご存知の通り、先週の雲取賞を制覇。単純な比較ではあるが、本馬は南関東の現3歳世代で牡馬牝馬関係なくトップクラスに位置している。シントーアサヒは万が一…のことはあるが、本馬は確実に走ってくるだろう。		
	10	ビービーガナール		南関東に転入後、無傷の3連勝と勢いはあるが、今回は相手関係が大幅に強化し、強力な同型が出走。この枠では行き切るのが難しく、力を出し切れずに終わるのでは。		
8	11	マーチャンスルー		ホウショウレイル、ビービーガナールに完敗している馬。重賞では荷が重い。		
	12	マルパソ		東京2歳優駿牝馬3着は光るが、今回は当時よりも強力なメンバー。本馬を買うならラブミーピンクを買うべきだろう。		